



上関 未来通信

正月号
通算317号
発行 平成23年1月21日

駆け上がる 有意義な年に

平成二十三年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素より『上関町まちづくり連絡協議会』の活動にご支援、ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、二月の町議会議員選挙では七割の推進票を獲得し、五月の上関原電推進総決起大会では千五百人の賛同者が集まるなど、改めて原電立地によるまちづくりに対する期待の高さが実感できた年でした。しかし、肝心の原電工事は、町外の反対派などによる妨害行為で、未だに進展していないのが現状です。

今年には念願の温浴施設の着工をはじめ、国体の開催、町長選挙など、大きな出来事が控えています。私たち町連協も様々な形で積極的に活動してまいりたいと考えています。

また、中国電力には引き続き工事進展のための努力を要請するとともに、町連協としても理解を進めるための広報活動を展開し、一日も早い原電立地を契機とした町づくりを実現させたいと、決意を新たにしています。

今後とも倍旧のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成二十三年一月吉日

ととと 浦

道は近きに在り
吉村 清
子



町連協 2010年の活動

- 4/7 商工協代表者などと田ノ浦で妨害中止を要請
- 5/16 推進6団体が参加して「上関原電推進総決起大会」を開催。代表者らが祝島・田ノ浦の反対派に抗議
- 5/17 推進6団体が中国電力本社を訪れ推進を要請
- 6/1 推進団体から20名が田ノ浦を訪れ反対派に抗議
- 6/3 商工協や町連協などから100名が田ノ浦を訪れ反対派に抗議
- 10/26 『原子力の日』にチラシ配布などまちづくりをアピール
- 11/18 町連協から7名が田ノ浦の町外者に妨害中止を要請
- 12/23 町連協のホームページ『上関みらい通信』を開設

新春対談

成果につながる活動を

新たな年を迎えた1月15日、当会の田中清忠代表幹事と井上勝美事務局長に、今年の活動方針や抱負などを語ってもらいました。

■ 昨年をふり返って

〔田中〕 昨年は町外からやって来た反対派らの妨害活動で、足踏みが続いた年でした。我々も町民の理解を進める活動は行ってきたのですが、もうひとつ伝わらなかった。具体的にどんな活動をしているのか、知らない町民も多かったようです。コミュニケーションが充分ではなかったということでしょう。

〔井上〕 そうですね。国や県、事業者が上関町のことを真剣に考えているということ、町内の人に知ってもらわなければならないと思います。



井上勝美事務局長

田中清忠代表幹事

そのためには、情報発信を密にし、積極的な広報活動をしていく必要があるでしょう。

ただ、町議会議員選挙では推進に7割の得票があったり、原電推進総決起大会では千五百人が集まるなど、手応えも感じられる年でした。

■ 工事への妨害活動について

〔田中〕 反対派が言っている自然エネルギーへの転換や自然保護の取り組みは理想論であり、すぐに実現するものではないでしょう。それを振

温浴保養施設・町長選挙・国体

■ 大きな出来事が目白押し

〔田中〕 2月には待望の温浴保養施設が着工し、秋には完成します。9月は町長選挙があり、続いて上関町がボクシングの会場になっている国体が開催されるなど、今年は大きな出来事がいくつも控えています。

〔井上〕 明るい話題が多いですね。温泉は私も楽しみにしています。多くの町民も待っているんじゃないでしょうか。

〔田中〕 せっかく町内に明るい話題があるのだから、こうした情報をど

りかざしての妨害活動は、迷惑以外の何ものでもありません。

〔井上〕 違法な活動も多いですね。環境問題をもち出せば、何をしてもいいと思っ

ているように見えます。日本は民主主義国家です。上関町は

原電誘致を選択したのだから、正々堂々と主張を貫いてい

きたいと思っています。〔田中〕 私たちが取り組んでいるのは、環境保護や地域振興を両立させる実現可能な施策です。町民も、その自負を持ってほしいですね。



〔田ノ浦の建設計画地点〕 反対派が海岸に土のうを積んでテントを張り、町道にはシーカヤックを並べているのが確認できる。(2010年12月27日)



一層頑張ってほしいし、我々も積極的に情報発信をしていきたいと思

います。〔田中〕 いろいろな機関と連絡を密にしなが

■ 今年の抱負

〔井上〕 やはり原電の工事を速やかに再開することでしょうね。そのために、中電には理解を求める活動を

と盛り上がっていくといいですね。〔井上〕 町づくりが着々と進んでいることを町民にアピールしていき



温浴保養施設「上関海峡温泉」建設現場



卯 歳 豆 知 識

今年卯年。十二支の4番目に当たります。「卯」の字は「茂る」という意味で、草木が地面を覆う状態を表しており、季節は「春」が当てられています。日本以外のアジア諸国にも十二支があります。ベトナムなどでは卯年の動物は「兔」ではなく「猫」が割り当てられているそうです。

動物のウサギは世界で50種あまり。日本では「因幡の白兔」に代表される、白い体色に赤い目の日本白色種というのがイメージとして定着していますが、世界ではグレーの種類が一般的のようです。

ウサギは上り坂に強く、困難に打ち勝って進みます。今年「一兔を追わず、脱兎のごとく目標に向かい、大きくジャンプする年」にしたいですね。

押絵／新地昭子さん(室津)

後記

●会報の新春企画として、当会の代表幹事と事務局長の対談(このページに掲載)を行いました。今年の町連協の活動方針をご理解いただければ幸いです。●広報部としては「上関未来通信(当会報)」やチラシの内容をより充実したものにするともに、昨年末に立ち上げたホームページ「上関みらい通信」で町民の声を広く伝えていきたいと思

